

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 **黎明**



明 報恩感謝

監修/日刊ひぐらし 〒151-0071東京都渋谷区本町1-30-18-107 <http://www.higurashi.net/> 第0066号
護國青年會議機関紙 <http://www.gokoku.net/> 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成21年12月25日

支那の走狗小沢一郎を追放せよ！

日本消滅を企てる小沢一郎と民主党の本質

毎年この時季になると、報道各社は挙って「今年の10大ニュース」を取り上げる。小紙も昨年までは御多分に漏れず取り上げてきたが、今年に限っては一刻も早く、日本消滅を企てる小沢一郎の本質をお伝えしなければならぬと考え、急遽原稿を差し替えることとした。

17年前、バルセロナ五輪女子200m平泳ぎで金メダルを獲得した14歳の少女が、レース後のインタビューで「今まで生きてきた中で、一番幸せです」と語ったことを覚えている方も多いと思う。今、小沢一郎の不敬、傲慢、独善、そして自分では何一つ決められないグズ宰相・鳩山由紀夫の無能ぶりを目の当りにして、民主党に投票した国民は、何を思うのか。恐らく、この夏の選択が将来に禍根を残す過ちだったことに気づき「今まで生きてきた中で、一番不幸です」と嘆き苦しんでいることだろう。善良な国民の嘆きを嘲笑うかのよう

に、今日もまた小沢一郎の可笑いが日本列島の津々浦々にこだまする。

(編集人)

俺の独裁が第一。



支那の理不尽な要求に屈した日本政府

胡錦濤の跡目と目される支那の副主席・習近平が15日、天皇陛下と会見した。

陛下と外国要人との会見は一カ月前までに文書で申請することがルールとなっている。だが支那からの申請が一カ月を切った11月下旬であったため、外務省は会見は認めら

平野博文に会談を行うよう指示を出したのだ。支那の要求は断じて認めるべきでなく、その理不尽さは言うに及ばないが、これを受け入れた小沢や鳩山の対応こそ極めて問題であり、その罪は万死に値するものだ。

習はウイグル大虐殺の張本人
12月20日、読売新聞が発表した10大ニュースの8位に新疆ウイグル自治区の惨劇がランクインしている。

事件は本年7月5日に発生した。長年に亘る人権を無視した支那の弾圧に耐えかねたウイグル人は抗議の集会を重ね、その輪は日を追うごとに拡大し、武装警官と衝突することとなった。折しも、胡錦濤はイタリアのラクイラで開催されたG8に出席中で、習近平が、その留守を預かっていた。国際世論を気に掛ける周囲の反対を押し切り、習近



殺人鬼・習近平

平は「容赦なく対処せよ」と武力による鎮圧を命じたのである。その結果、武装警官の暴走を許し、多くの人命が失われることになった。支那政府の発表では、ウイグル人の犠牲者は197人となっているが、実際には武装警官の無差別発砲により、千人以上の犠牲者が出ているのだ。

このような大弾圧を指揮したばかりの血塗られた殺人鬼が陛下と会見することに對しグズ鳩は「本当に大事な方ならば、お体の許す限りお会いになつていただく」と記者団に語った。鳩山にとって支那の殺人鬼は、それほど「大事な方」なのか。陛下に対して命令口調で「お会いになつていただく」とは思いがりも甚だしい。

不敬を超えた国賊・小沢一郎
グズ鳩に輪をかけた不敬な輩が小沢一郎だ。前述したように小沢は支那からの指示で陛下と習の会見をこり押しした張本人だ。この特例会見に對して、宮内庁の羽毛田信吾



羽田長官

長官は記者会見で「大きく言えば陛下の政治利用だ。私も内閣の一員で、直接の上司である内閣総理大臣の命令だから苦渋の思いだ。二度とあつてほしくないことだ」という主旨の発言をしている。これに対して小沢は、傲慢極まりない発言で羽田長官を口汚く罵った。

「なんとかつていう宮内庁の役人が、どうだこうだと言ったそうだが、日本国憲法を理解していない人間の発言だ。天皇の行為は内閣の助言と承認で行われる国事行為だと憲法に書いてある。役人なんだから、どうしても反対なら辞めてから言え。天皇の体調がすぐれないというならば、それよりも優位性の低い行事はやすめばいいことだ。天皇陛下ご自身に聞けば『手違いで遅れたかもしれないが会いましょう』と必ずそうおっしゃると思う」と、政治家としての見識、日本人としての精神の根幹を疑いたくなるような発言をしている。

小沢は羽田長官を「憲法を理解していない人間」と断じたが、小沢の方こそ憲法を理解していない。憲法が定める陛下の

国事行為には、外国大使や公使の接待は含まれるが、賓客の接待はその範疇ではない。従って陛下が、支那の副主席とお会いになることは国事行為ではなく、内閣がとやかく言える問題ではないのだ。これだけなら情状酌量の余地はないとは言えないが、小沢は越えてはならない一線を越えてしまった。

小沢は「優位性の低い行事はやすめばいい」と陛下の行為に容喙し、さらに「ご自身に聞けば、必ず『会いましょう』とおっしゃると思う」とまで言い切っている。まさに聞き捨てならない発言で到底看過できることではない。一政党の、一幹事長ごときが、大御心を弄ぶとは何様のつもりだ。

褒美は胡錦濤とのツーショット

鳩山は「習副主席が天皇陛下にお会いになることは、東アジアの平和と繁栄のために大変よいことと思います」と言っている。1千人以上のウイグル人の命を奪った殺人鬼が、天皇陛下に謁見することで東アジアが平和になり、繁栄をもたらすなどと寝惚けたことを言っている。百歩譲って仮にそうだとしても、そんな崇高な目的のある外交日程が、何故1か月前に決められなかったのか、そんな立派な目的など端から存在しないこと表れた。

今月10日、小沢は民主党のパーリー議員143人を始めと



狂気の沙汰！ 支那に魂を売り、日本国民の誇りを傷つけた破廉恥外交団一行

する総勢600人以上を率いて支那を訪問した。テレビが放映したその光景は、さながら小沢小学校の修学旅行のようで、国會議員としての誇りや品位など微塵もない恥晒し集団そのものであった。

支那が陛下を政治的、外交的に利用しようと企んでいることは江沢民以来明々白々である。

かつて陛下は、天安門事件から3年後の平成4年10月、支那を訪問されたことがある。当時の支那は、天安門事件における人権を無視した大虐殺に対して、西側諸国より厳しい批判を受けていた。支那に対する批判は、自由主義社会の潮流となり、制裁強化の声は日を追うごとに大きくなっていった。このままで

は国際社会から孤立する。そう思った江沢民は、あろうことが天皇陛下を利用し、窮地からの脱出を画策した。日本を貶めよ

うとする支那の謀略に手を貸したのは、時の首相宮澤喜一である。宮澤は国民の猛反対を無視して、強引に陛下のご訪中を決めた。その結果、制裁緩和に繋がりが、支那は九死に一生を得た経緯がある。

天皇陛下との会見が「習近平副主席訪日の成否がかかっている」とする支那のメンツのため、天皇陛下を差し出した小沢へのプレゼントは、パーリー議員143人全員に対する胡錦濤とのツーショットだった。嬉々として胡錦濤と握手する様は、宗主国に恭順する属国の「朝貢の図」そのものであり、誇りある日本人なら正視に堪えられない屈辱的な光景である。

支那の走狗となり、恐れ多くも天皇陛下を差し出し、日本国を売り渡さんと画策する小沢を断じて許してはならない。即刻日本より追放すべきである。



今年一年を振り返り、その世相を象徴する今年の漢字に「新」が選ばれ、11日、清水寺の奥の院で森清範管主の揮毫により発表された。主催者の漢字能力検定協会によると、「新」を選んだ背景には「新政権」や「新型インフルエンザ」「マリナーズのイチローの新記録」などが反映したという。インフルエンザは来年も脅威であり、体調さえ崩さなければイチローは記録を塗り変えることだろう。だが、新政権はどうかと言えは甚だ疑問である。恐らく桜の咲く頃には鳩山内閣は雲散霧消し、小沢主導のもと新しい内閣が発足する。巷の噂では菅が有力のようだが、その管も長続きせず、また小沢主導で新しい内閣が誕生する。これが新政権の実態だ。やはり新しい方が良いのは女房と畳だけのようだ。

本年中のご愛読を深謝申し上げます、来年も変わらぬご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。 スタッフ一